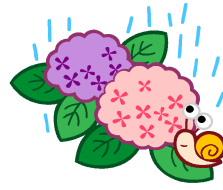


つよく・やさしく・心をこめて

三勲小だより



平成29年6月22日(木)

<土曜授業>

先日の土曜授業には、多くの方にご来校いただきましてありがとうございました。授業参観では学級の雰囲気や子どもたちの頑張る様子を見ていただき、学級懇談・海の学校の説明会など、熱心に話を聞いてくださり、また、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。その後の引き渡し訓練も、ご協力のお陰で、スムーズに行うことができました。災害時の対応につきましては、後日、学校より文書を配付いたしますので、ご確認ください。

さて、学級懇談会の間、子どもたちは体育館でミニコンサートを聴きました。岡山市教育委員会の学校支援ボランティアに登録している就実大学の学生の皆さん9人による、とても楽しいコンサートでした。歌、ピアノ、フルート、サックス、バイオリンの演奏やけん玉日本一の学生さんの素晴らしい技の披露、リズム遊び、うらじゃ音頭など、楽しく聴いたり見たり、身体を動かしたりして、たいへん盛り上がりま



<あいさつ・会釈>

先日、中学校区のあいさつ運動があり、本校でも、学級ごとに日を決めて朝のあいさつ運動を行いました。それが終わっても、たくさん子どもたちが、朝、校門や昇降口の近くで自主的にあいさつ運動をしており、感心させられます。また、他の子どもたちも、「おはようございます。」「さよう

なら。」のあいさつが徐々に自分からできるようになってきました。先日の全校朝会では、ミニコンサートの話と併せて、子どもたちに次のような話をしました。

おはようございます。

土曜授業では、お家の人や地域の方などたくさんの方にお勉強の様子を見ていただきましたね。皆さんが一生懸命勉強しているので校長先生もとてもうれしく思いました。避難訓練・引き渡し訓練もありました。いざという時には落ち着いて行動することが大切ですね。また、体育館でコンサートもありました。いろいろな楽器の演奏を聴いたりけん玉の技を見せてもらったり、一緒に踊ったりして楽しかったですね。楽器の演奏やけん玉、スポーツなど学校の勉強以外にも自分で好きなことを見つけてやってみるのはとてもいいことです。今朝は6年生の人が、校長先生に百人一首を書いたノートを見せてくれました。今少しずつ覚えているのだそうです。皆さんもおもしろそうだと思うことがあったら自分から取り組んでみるといいですね。

さて、最近、三勲小の皆さんがとてもよく頑張っていると思うことがあります。それは朝と帰りのあいさつです。こんな人が増えてきましたよ。

代表児童が朝のあいさつと帰りのあいさつをする。

どうですか。先生の顔を見たら自分からすぐに大きな声であいさつしていましたね。あいさつが先にできる人が最近増えてきたことはとてもいいことです。

では、次です。これは朝や帰りではなく、廊下などで先生やお客様とすれ違う時です。

会釈をしないで通り過ぎる。←「あれっ」という声

どうですか。そうですね。何もごあいさつしないで通り過ぎてしまいましたね。では、同じ人たちに、もう一度やってもらいましょう。

会釈をして通り過ぎる。

今度はどうですか。そうですね。大きな声はしませんが、きちんと頭を下げて通りましたね。これは会釈と言います。会釈は人とすれ違う時にします。近くにきてずっと頭を下げると、大きな声であいさつしたのと同じように感じがいいものです。外では大きな声であいさつすることが多いですが、建物の中などは、このように、すれ違う時に頭を下げるのが礼儀です。実は先生同士も、廊下ですれ違う時には会釈をしているのですよ。先生と先生がすれ違う時に見てください。きっといいお手本になります。これからは、朝や帰りの大きな声で先にするあいさつに加えて、先生やお客様に会った時などに、会釈もきちんとできるようになりますよ。

今、代表でしてくれた人は、最近校門であいさつ運



動をしている人です。明るくあいさつしたり、手でトンネルを作ってくぐらせてあげたりして、いつも楽しい雰囲気になってくれています。校長先生はこのトンネルのことを「幸せのトンネル」と呼んでいます。では、この人たちから皆さんに、メッセージをどうぞ。

「あいさつをしましょう！幸せのトンネルも通らしましょう！」

どうもありがとう。大きな拍手をしましょう。今日はあいさつと会釈についてお話ししました。

<三勲小の一部>

三勲小の一部ではありませんが、三勲小に残っている、たいへん貴重なものを紹介します。これは、三勲国民学校(今の小学校)の学校日誌です。小学校では、今も毎日学校行事や在籍数などを日誌に記載しています。



この日誌は昭和20年度のもので、開いている左のページは岡山空襲のあった6月29日の前日のものです。夕方までの通常の記入に加え、29日の2時30分頃からはB29による空襲があったこと、その後の職員の行動などが記入されています。三勲国民学校は焼失しなかったため、翌日から救護所となって職員も罹災証明書の発行などを行っています。

実は、この学校日誌は今、学校にはありません。6月16日(金)から7月2日(日)まで岡山シティミュージアムで開催されている「第40回岡山戦災の記録と写真展—平和への思い、40年—」に貸し出し、展示されているのです。

岡山空襲では、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人の死者が出たとのこと。当時、三勲国民学校では、校庭は掘り返されてさつまいも畑になり、全員が壕内に逃げ込む練習や全校児童1300人を自宅に無事に送り届ける帰宅訓練などがありました。岡山空襲の時には、校舎内外にも相当数の被弾がありましたが、かろうじて難を免れたと聞いています。戦争を知っている人が少なくなってきた今、子どもたちに戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さについて考えさせることは、私たち大人の使命です。この記録と写真展では戦争に関する様々な写真や貴重な資料の他、昭和の暮らしについての展示もあります。入場無料ですので、是非お父さんと一緒にお出かけください。6月29日にはお昼の放送で、子どもたちに戦争と平和について話をしようと思います。

